

## 2 研究の実際

### (2) 問題解決的な学習の授業展開

研究を進めるに当たり、佐賀県教育センター『平成 27・28 年度「プロジェクト研究」小・中学校道徳教育』の研究成果を踏まえて、評価の進め方を探りました。「プロジェクト研究」では、授業展開の中に、書く活動①、話し合い、書く活動②を位置付けた問題解決的な学習を取り入れ、ねらいとする児童生徒の育成を目指した授業実践を行いました（図 1）<sup>(1)</sup>。

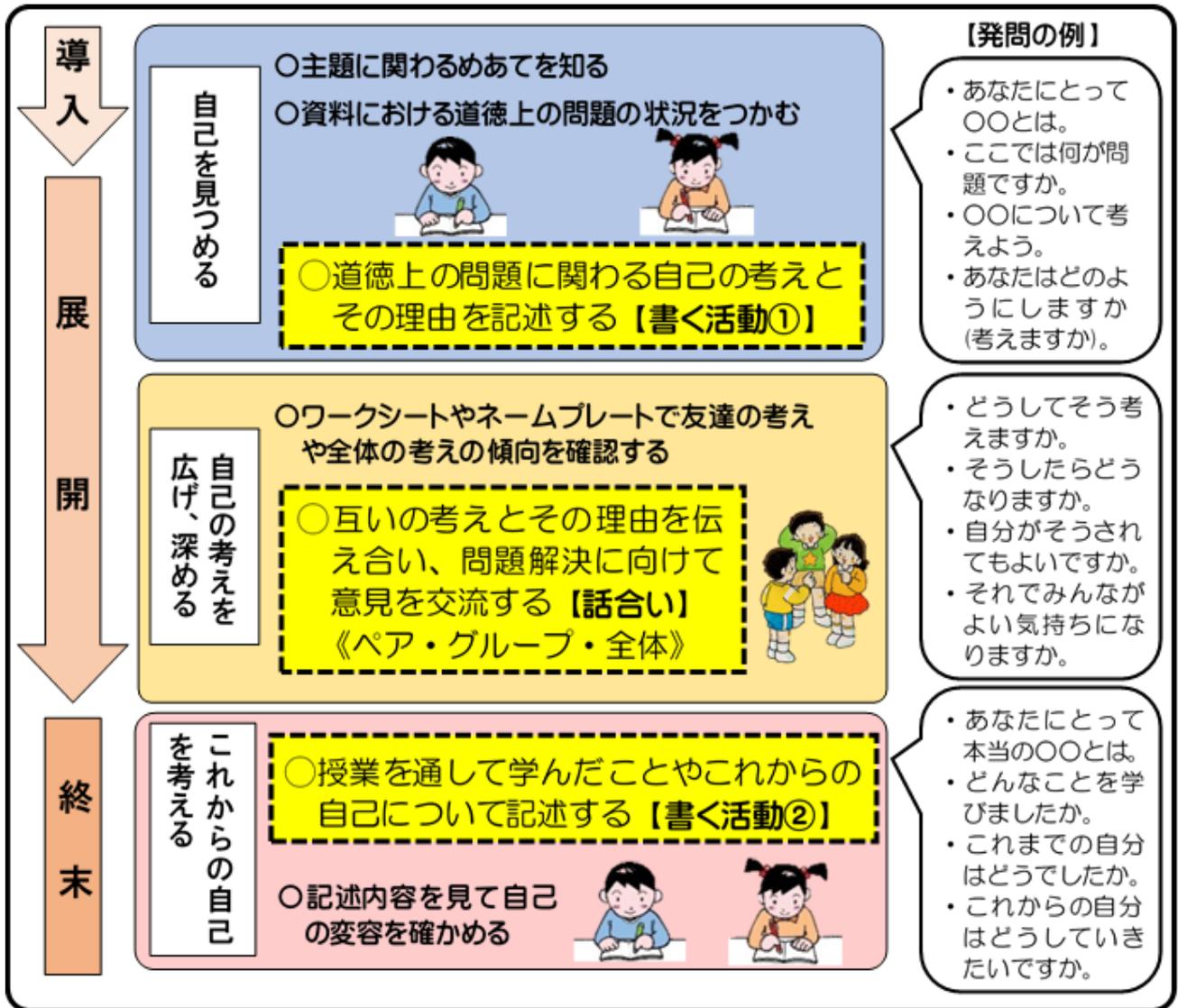


図 1 問題解決的な学習の授業展開図

書く活動①で今の自己を見つめ、話し合いで自己の考えを広げたり深めたりし、書く活動②でこれからの自己を考えることをねらいとしました。これらの活動により、友達の考え方について理解を深めたり、自己の考えを明確にしたりすることができ、自己の成長を意識することにつながると考えました。

さらに、事前指導、授業、事後指導において、児童生徒の学習活動に係る評価を適切に取り入れながら授業実践を繰り返していくことで、授業で学んだ道徳的価値を日常生活の中での道徳的実践につなげていくことができると考えました。

《引用文献》

- (1) 佐賀県教育センター 『平成 27・28 年度「プロジェクト研究」小・中学校道徳教育』 平成 29 年  
3 月

[http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu\\_chousa/h28/02\\_doutoku/h27-28\\_proken\\_syoutyu\\_doutoku\\_toppage.htm](http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h28/02_doutoku/h27-28_proken_syoutyu_doutoku_toppage.htm)